

2011年3月期
第3四半期決算説明資料



2011年1月31日

2011年3月期 第3四半期業績

2011年3月期 第3四半期連結業績(2010.4.1-12.31)

決算のポイント（対前年同期実績）

（±は利益に対する寄与）

- 売上高：(+)ガス販売量増および原料価格上昇による売上単価増(+817億円)
(+)扇島パワー稼働等による電力売上の増加(+294億円)
- 営業利益：(▲)原材料費増加(▲917億円)によるガス粗利の減少(▲100億円)
(+)年金数理差異償却減(+388億円)による諸給与の減少
- 経常利益：(▲)海外子会社等為替評価差(▲59億円) (+)天候デバティフ 差益(+15億円)

単位：億円

	09年度第3四半期	10年度第3四半期	増減	増減率
ガス販売量(百万m ³ ・45MJ)	9,434	10,392	+958	+10.2%
売上高	9,653	10,685	+1,032	+10.7%
営業費用	9,218	10,002	+784	+8.5%
営業利益	435	682	+247	+57.0%
経常利益	473	681	+208	+43.8%
四半期純利益	316	412	+96	+30.4%

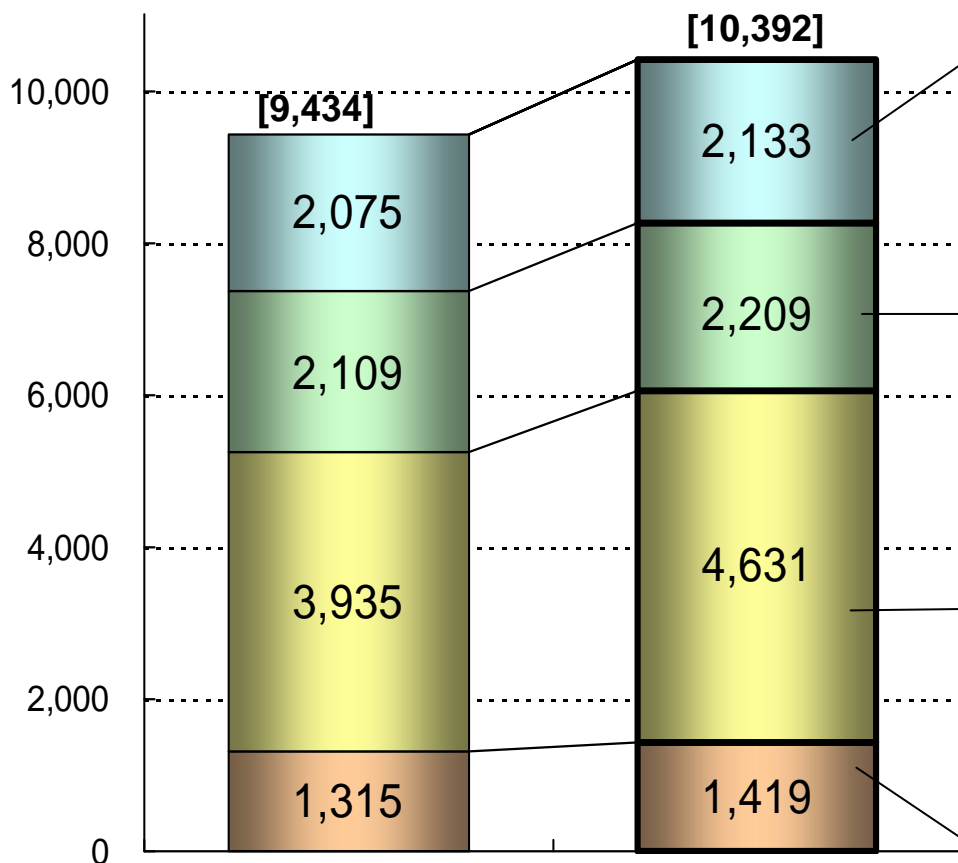
(スライドタイムラグ・個別)	+121	▲148	▲269	-
(年金数理差異償却額・個別)	▲240	+148	+388	-

経済圏	原油価格 (\$/bbl)	為替(円/\$)	気温(°C)
FY10 1~3Q平均	79.67	86.85	20.0
FY09 1~3Q平均	66.48	93.61	19.5

年金資産運用状況(運用コスト控除後)	
10年12月末実績	3.1%
09年度末実績	7.2%

連結ガス販売量実績(2010.4.1-2010.12.31)

百万m³ 45MJ



(百万m³未満四捨五入) FY09 3Q (19.5℃) 需要家件数 (万件)

FY09 3Q末	FY10 3Q末	増減
1,059	1,070	+11

FY09 3Q → FY10 3Q 増減要因

前期比 + 958百万m³ (+10.2%)
 [内大口供給 +766百万m³ (+15.6%)]

家庭用 + 58百万m³ (+ 2.8%)

- ・ 気温による給湯需要増(*) + 26百万m³
- ・ 件数影響 + 12百万m³
- ・ 日数影響 + 15百万m³
- ・ その他 + 5百万m³

業務用 + 100百万m³ (+ 4.7%)

- ・ 気温による空調・給湯需要増 + 94百万m³
- ・ 件数影響 ▲ 5百万m³
- ・ 日数影響 + 6百万m³
- ・ その他 + 5百万m³

工業用 +696百万m³ (+17.7%)

- ・ 一般工業用： + 73百万m³
 既存需要家需要回復等
- ・ 発電用： +623百万m³
 扇島パワー稼働、猛暑による電力需要増

卸供給 +104百万m³ (+ 7.9%)

- ・ 一般ガス事業者： + 95百万m³
- ・ 大口ガス事業者： + 9百万m³

(*) 第2四半期実績気温差異分析見直し後

ガス販売量気温差異分析の見直しについて

背景

- 2010年7月～9月は、猛暑により対前年・対計画に比較し気温が異常に高く推移し、通常の気温補正による家庭用販売量差異分析では正しく分析できないため、今回見直したものの。

<気温差異>

単位:°C

	10年度実績気温	前年度気温	差異
7月	28.0	26.3	+1.7
8月	29.6	26.6	+3.0
9月	25.1	23.0	+2.1

変更点(赤字)

単位:百万m3

2010年7-9月 家庭用ガス販売量差異要因	変更前(A)	変更後(B)	(B)-(A)
対前年度実績	気温影響 ▲77 日数影響 ▲ 6 件数影響 + 2 その他 + 28	気温影響 ▲50 日数影響 ▲ 6 件数影響 + 2 その他 + 1	+27 - - ▲27
対当初計画	気温影響 ▲51 日数影響 0 件数影響 0 その他 + 24	気温影響 ▲33 日数影響 0 件数影響 0 その他 + 6	+18 - - ▲18

部門別概況<対前年同期実績>

単位：億円

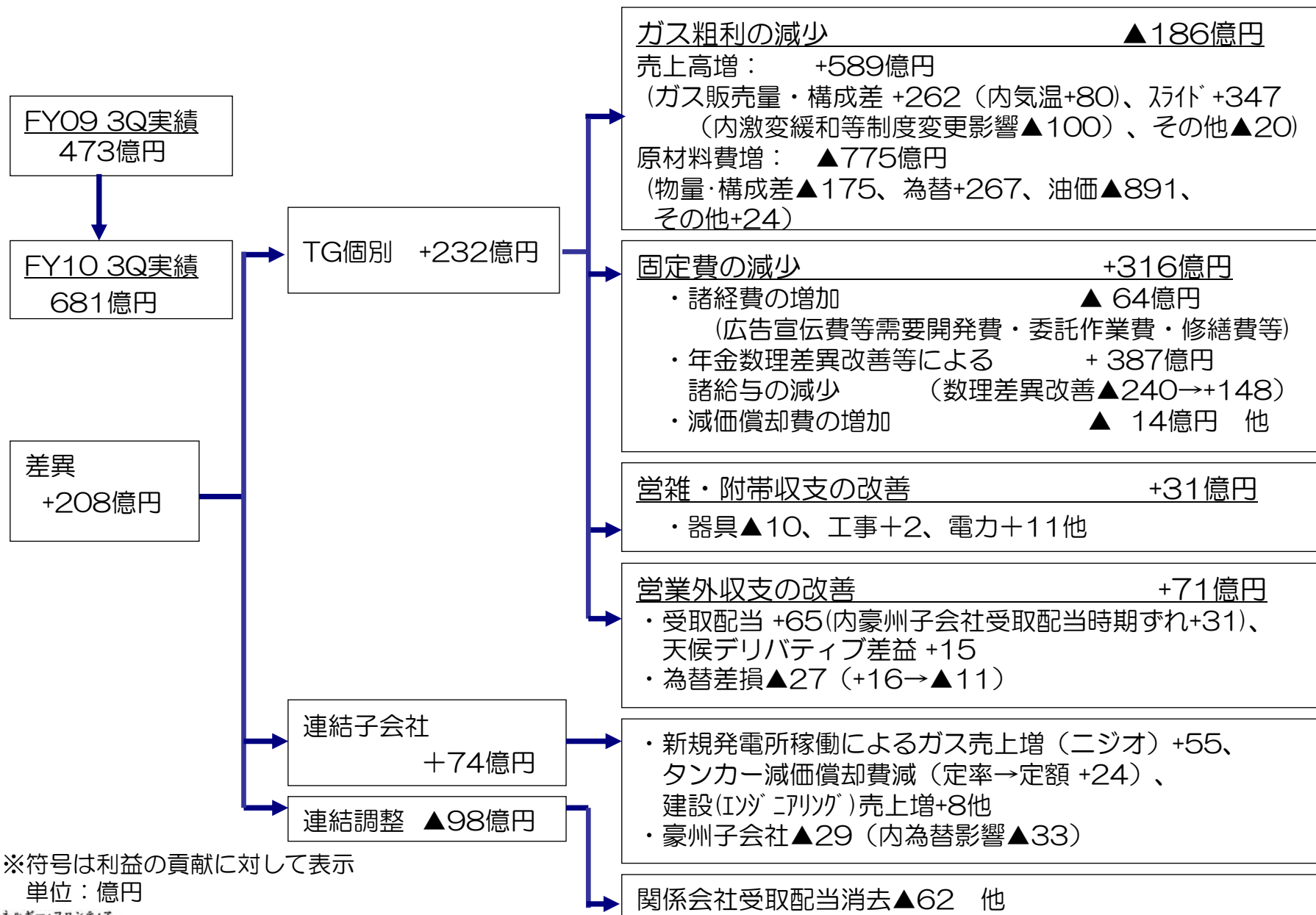
	売上高			営業利益			要因
	09年度 第3四半期	10年度 第3四半期	増減	09年度 第3四半期	10年度 第3四半期	増減	
都市ガス	7,042	7,859	+817	652	777	+125	売上：販売量・売上単価増 利益：原油価格高騰による 原料費増・諸給与減
器具及び ガス工事	1,180	1,218	+38	23	20	▲3	売上：新規連結ライバル(2社)
その他 エネルギー	1,127	1,607	+480	56	80	+24	売上：扇島パワー稼働による電 力売上増, LNG販売売上増
(内電力事業)	(207)	(501)	(+294)	(7)	(32)	(+25)	利益：電力利益増
不動産	246	248	+2	55	50	▲5	
その他	1,085	1,137	+52	24	56	+32	売上：建設売上増 利益：建設利益増 タンカー費用減
消去又は 全社	▲1,027	▲1,385	▲358	▲377	▲302	+75	
連結	9,653	10,685	+1,032	435	682	+247	

(注1) 2010年度第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用し、セグメントを変更しています。

(注2) セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

(注3) 前年同期の数値は、前年同期の金額を新セグメントに組み替えた参考値です。

経常利益分析<対前年同期実績>



※符号は利益の貢献に対して表示
単位：億円

2011年3月期 通期連結業績見通し

通期見通し 連結業績(2010.4.1-2011.3.31)

修正のポイント (対前回<10/29>見通し)

(±は利益に対する寄与)

- 売上高: (▲)ガス販売量減によるガス売上高減 (+) 連結子会社売上増
- 営業利益: (▲)ガス販売量減・油価上昇影響等によりガス粗利減 (+) 連結子会社利益増
- 経常利益: (+) 為替差益増他
- 当期純利益: (+) 保有有価証券の評価減振戻し

単位: 億円

	2009年度	2010年度通期見通し					
	実績(A)	今回見通し(B)	増減(B-A)	増減率	前回見通し(C)	増減(B-C)	増減率
ガス販売量(百万m ³ ・45MJ)	13,666	14,584	+918	+6.7%	14,685	▲101	▲0.7%
売上高	14,157	15,240	+1,083	+7.6%	15,250	▲10	▲0.1%
営業費用	13,304	14,100	+796	+6.0%	14,090	+10	+0.1%
営業利益	852	1,140	+288	+33.8%	1,160	▲20	▲1.7%
経常利益	835	1,130	+295	+35.3%	1,120	+10	+0.9%
当期純利益	537	710	+173	+32.0%	680	+30	+4.4%
(スライドタイムラグ・個別)	+57	▲302	▲359	-	▲253	▲49	-
(年金数理差異償却額・個別)	▲320	+198	+518	-	+198	0	-

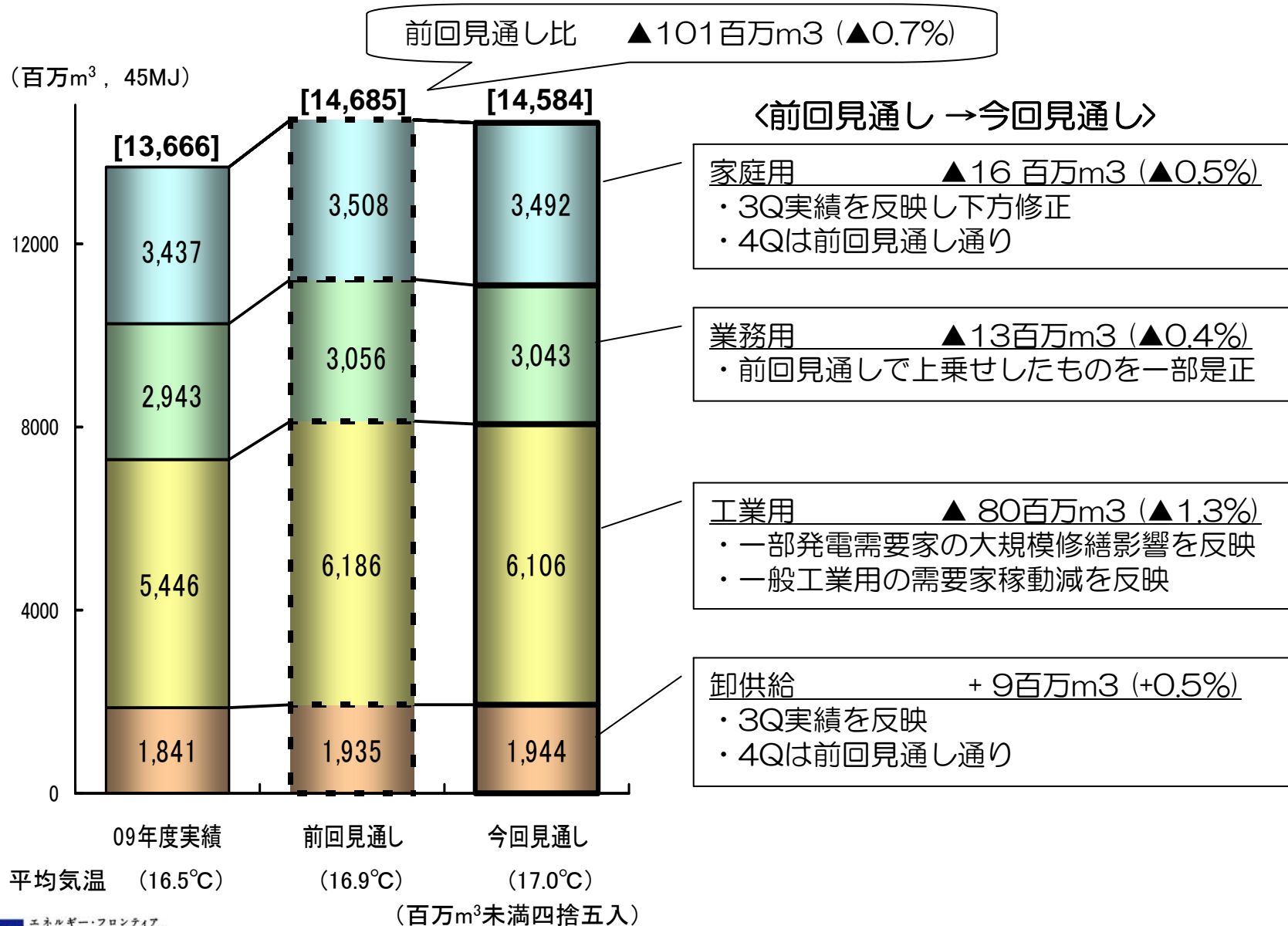
原油価格・為替レート4Q変動の通期収支影響感度(億円)

	通期
1\$/bbl 油価上昇影響	▲3
1円/\$ 円高影響	+10

経済フレーム ※2011年1月以降 1バレル= \$90、1\$=85円

(通期)	原油価格(\$/bbl)	為替(円/\$)	気温(°C)
FY10	82.25	86.39	17.0
10/29見通し	79.18	86.96	16.9
FY09	69.40	92.89	16.5

通期見通し 連結ガス販売量<対前回(10/29)見通し>

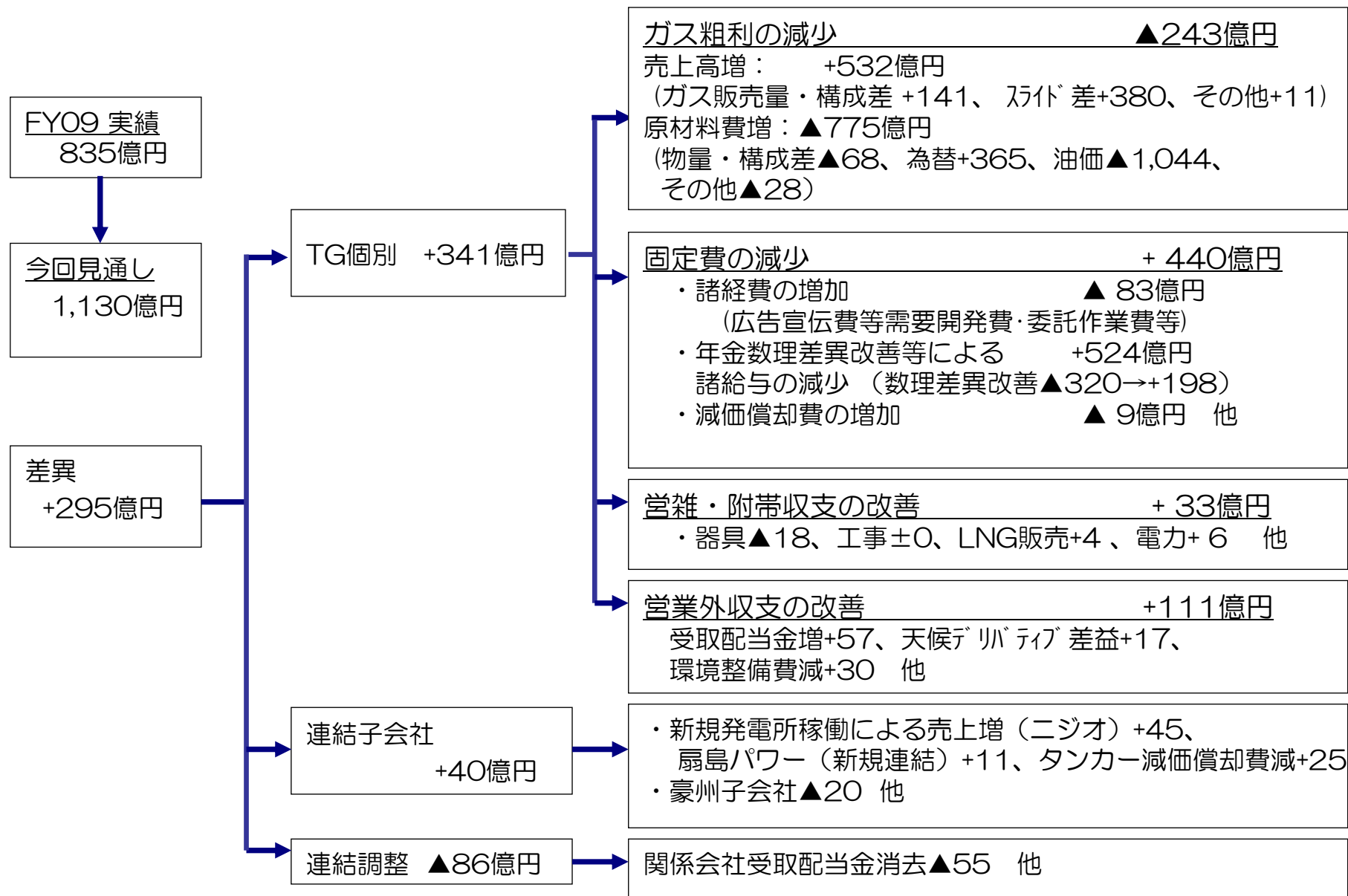


通期見通し 部門別概況<対前回(10/29)見通し>

単位：億円

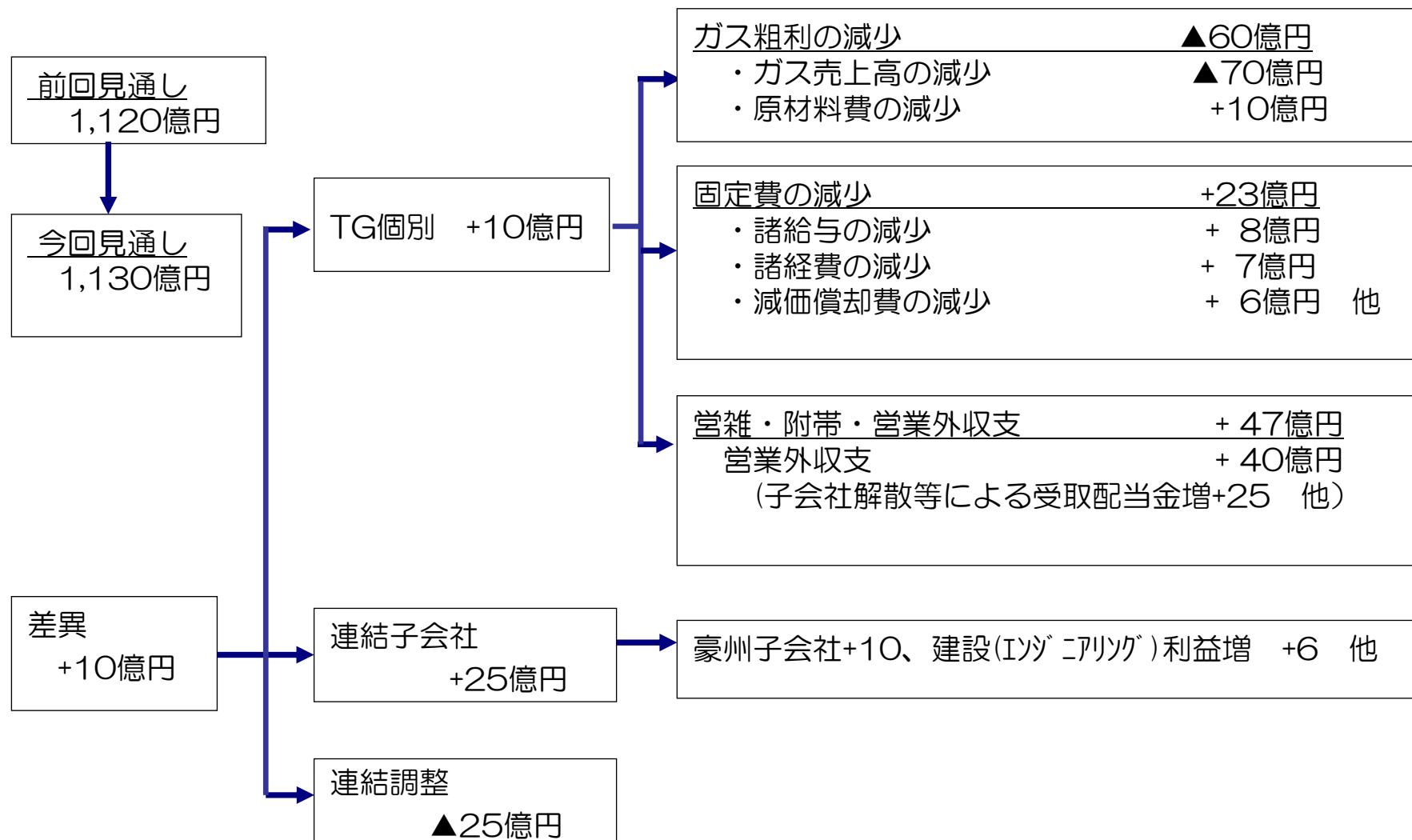
	売上高			営業利益		
	前回見通し	今回見通し	増減	前回見通し	今回見通し	増減
都市ガス	11,333	11,277	▲56	1,358	1,315	▲43
器具及びガス工事	1,677	1,718	+41	▲8	2	+10
その他エネルギー	2,173	2,193	+20	88	93	+5
(内電力事業)	(666)	(674)	(+8)	(36)	(40)	(+4)
不動産	328	327	▲1	59	55	▲4
その他	1,585	1,620	+35	80	89	+9
消去又は全社	▲1,846	▲1,895	▲49	▲417	▲414	+3
連結	15,250	15,240	▲10	1,160	1,140	▲20

通期見通し 経常利益分析<対2009年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示 単位：億円

通期見通し 経常利益分析<対前回(10/29)見通し>



※符号は利益の貢献に対して表示

都市ガス事業の概況

➤ 工業用ガス販売量推移(発電専用除く)

(百万m3、45MJ/m3)

	1Q	2Q	3Q	4Q	年度計	対前年増減
07年度	849	912	939	954	3,655	+9.7%
08年度	865	905	823	727	3,320	▲9.2%
09年度	677	774	826	886	3,163	▲4.7%
10年度	775 (実績)	783 (実績)	793 (実績)	794 (見通し)	3,145 (見通し)	▲0.6%

注：四捨五入により合計数値が合わない場合があります。

➤ 家庭用競合状況

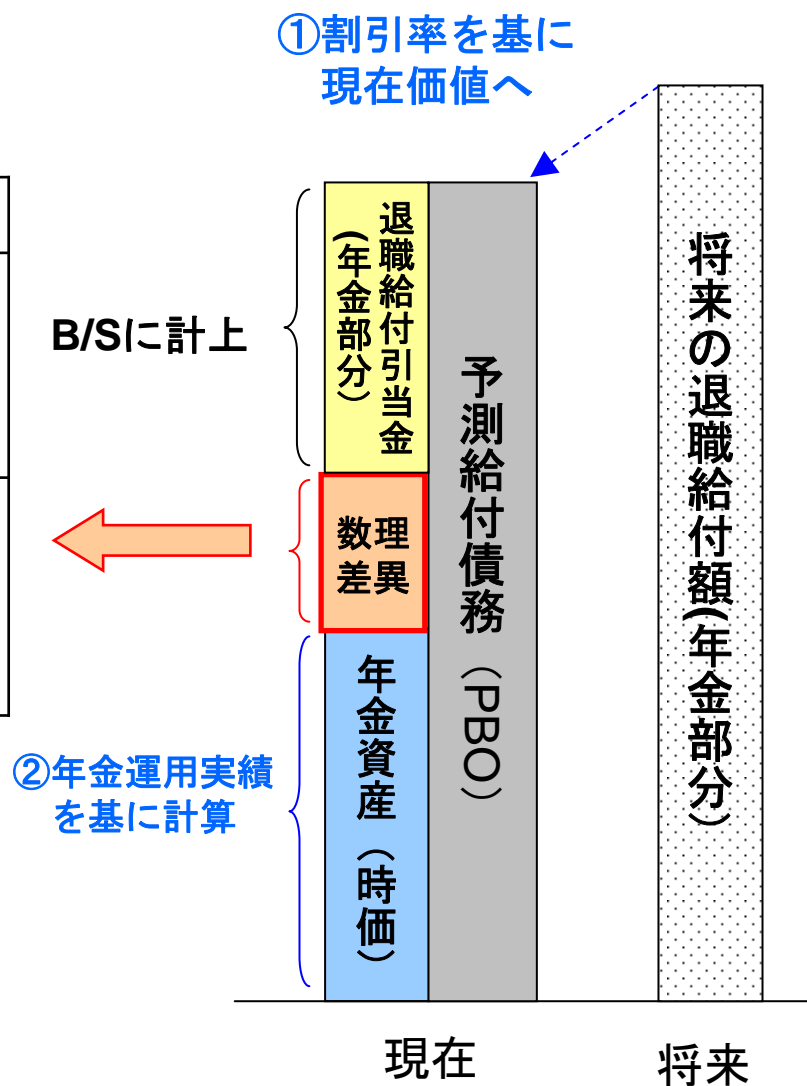
(個別)

		10年度第3四半期実績	年度当初計画
エネファーム販売状況(落成件数)		1,705台 (参考)成約済未取付件数 804台	2,500台
電化競合状況	新築電化率	-	12%
	既築電化件数	9,576件(前年同期 10,229件)	9,000件

年金数理差異影響について

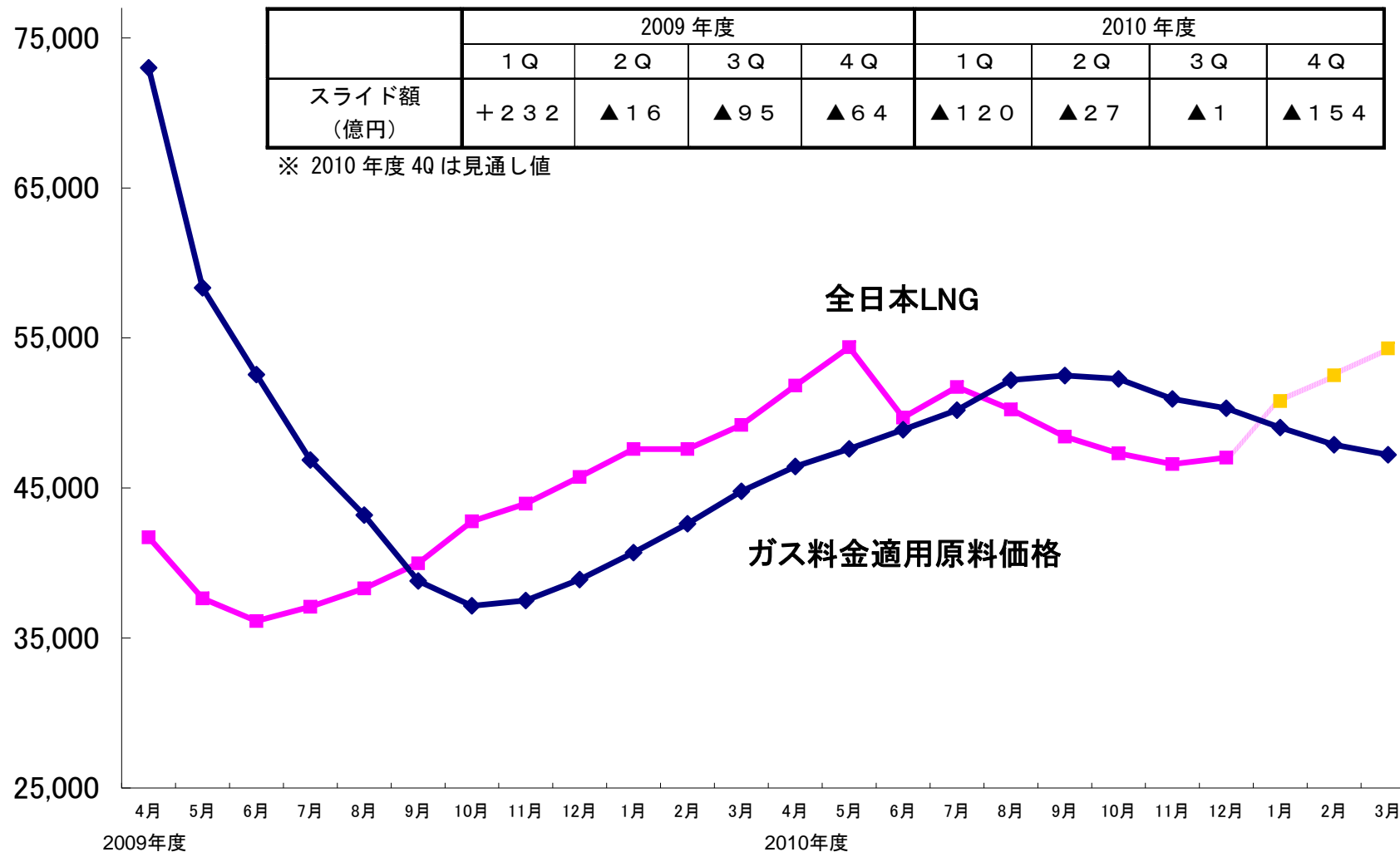
年金運用実績・割引率感度

	年金数理差異額
年金運用実績 (10年度末年金運用収益率が期待収益率2%に対して1%上回った場合)	▲約22億円
割引率(年度末日超長期金利) (10年度末20年国債利率が09年度末割引率2.1%に対して0.1%上昇した場合)	▲約40-45億円



スライドタイムラグ影響（概念図）

(円/ton)



※ガス料金適用原料価格：月々のガス料金算定に用いられる平均原料価格を指す
 ※全日本LNG(2011年1月～3月)は想定値

主要計数

(単位:億円)

	2009年12月 (実績)	2010年12月 (実績)	2009年度通期 (実績)	2010年度通期 (見通し)
総資産 (a)	17,599	18,033	18,409	18,120
自己資本 (b)	7,902	8,070	8,138	8,370
自己資本比率 (b)/(a)	44.9%	44.8%	44.2%	46.2%
有利子負債	6,035	6,496	5,559	5,830
D/E レシオ	0.76	0.80	0.68	0.70
四半期純利益 (c)	316	412	537	710
減価償却費 (d)	1,067	1,097	1,461	1,500
営業キャッシュフロー (c) + (d)	1,383	1,510	1,998	2,210
設備投資 (CAPEX)	963	977	1,481	1,470
ROA: (c) / (a)	-	-	3.0%	3.9%
ROE: (c) / (b)	-	-	6.8%	8.6%
総分配性向	-	-	60.1%	-

注: ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却費 (長期前払費用償却費含む)
 総分配性向 = {N年度の配当 + (N + 1)年度の自社株取得} / N年度の連結純利益

東京ガス株式会社

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東
京ガスの対応等があります。